

(一財)日本リトルシニア中学硬式野球協会東北連盟

大会規定細則

(一般)日本リトルシニア中学硬式野球協会東北連盟(以下「本連盟」という)の主催する大会全ての運営が、円滑に運ばれる事を目的として、ここに大会規定細則(運営要項・特別競技規則)を定める。

各チームの指導者は、大会参加にあたり、本細則を熟読し、大会の運営に協力する事。

運 営 要 項

- (1) 本連盟の主催する野球大会に出場する各チームは、必ず成人である責任者が引率し、大会中選手の全ての行動、並びに応援等に対し責任をもち、チームを管理しなければならない。
- (2) 大会中、不慮の負傷・疾病に対して主催者(各球場大会本部)は、応急手当を施すがそれ以上の責任は負わない。
- (3) 本連盟の主催する野球大会に出場する各チームの選手・監督・コーチは、必ず所定のワッペンを左肩口に付けた同一ユニフォーム(帽子・アンダーシャツ・靴下・ストッキング・靴・ウインドブレーカーを含む)を着用し、選手の背番号は1~25、監督は30、コーチは40・50・60・70(指導者は講習会受講者(伝達講習含む)及びスポーツ賠償責任保険加入者で本部の承認を得て認める)を付ける事。尚、スコアラーはスポーティーな服装とする。
- (4) ベンチ内には、登録選手(25名以内)と登録した監督・コーチ(2名)・スコアラーの他は入れない。チーム会長及びチーム事務局長はベンチに入る事は出来ない。
- (5) 各試合は、天候並びに球場の都合によって、試合開始を予定時刻よりも早める事がある。
- (6) 各チームは試合開始時刻40分前に球場に到着し、本部に選手登録書(選手登録証「カード」を含む)を提出し、大会役員又は審判員による確認を受ける事。尚、試合終了時は、選手登録書を引き取る事。大会本部は試合終了後、引き取りの無い選手登録書の責任は負わない。
- (7) 監督・コーチ・スコアラーが急用等の為、変更する時は「文書」(代行申請に代表者氏名、変更の理由等必要事項を記入)を、速やかに大会役員又は審判員に届け出て承認を受け、ベンチに入る事。通告を行わずにベンチに入った場合は、直ちに退場の処置をとる。
- (8) 各チームの主将は、試合予定時刻30分前、又は前試合5回終了後(コールドゲームの時は試合終了次第)所定のメンバー表4通を本部席に提出し、同時に審判員立会いのもとで攻守を決定する。
- (9) ベンチサイドは、大会組合せ(抽選番号)の若い方を1塁側とする。
- (10) ノック時間は、7分以内とするが、大会運営の都合により時間を短縮し、ノック無しで試合を開始する事もある。ノック時のボールボーイは危険防止の為、必ずヘルメットを着用する。フィールドイング中において、自チーム・対戦チーム関係無く先発投手に限りブルペンでの投球練習を認める。(捕手は控えても可能)
- (11) 攻撃側チームは、各イニングの先頭打者とベースコーチはミーティングに参加せず、所定の位置につく事。
- (12) 試合進行を速めるよう配慮し、攻守交代は全速力で行う事。ボールまわしは内野手1回とし、投手への返球は原則としてその守備位置から行う事。尚、試合の進行上、又は天候状

況によっては審判員の判断で変更する事がある。

- (13) 捕手は、投手への返球時や野手に声を掛ける為に、1球毎にホームプレートの前に出ない事。
- (14) グラウンド内に入る選手・監督・コーチは、ウインドブレーカー着用を禁止する。プレイ中の選手は勿論、ブルペンで練習中の投手・捕手も含む。又、グラウンドに出ている選手はユニフォームの下に着込んでもいけない。但し、ダッグアウト内及び走者となった投手は除くほか、降雨等の場合は、審判員の判断により許可する事もある。
- (15) 球場内で選手・監督・コーチ・スコアラーのサングラス使用を禁止する。但し、外野手は太陽光が眩しくてプレイに支障がある場合、審判員の許可を得て、全体が黒色系のものに限り使用する事が出来るが、ミラー及びガラス製のものは使用する事は出来ない。尚、偏光眼鏡の使用は、事前に大会本部へ届け出る事。
- (16) 長髪や茶髪及び髭（ひげ）・ピアスをした選手・監督・コーチ・スコアラーは、ベンチに入れさせない事もあるので、整髪し清楚な恰好で大会に臨む事。
- (17) ベンチ内で携帯マイクの使用は禁止する。監督に限りメガホンの使用を認める。
- (18) 審判や相手方選手に対する個人攻撃の野次は、ベンチ内選手はもとより、応援者も禁止する。尚、ベンチ及び応援者のマナーについては、大会役員及び審判員が監督経由で注意する事が出来る。
- (19) ベンチ内で、携帯電話、タブレット端末、パソコン等電子機器を持ち込み、外部と情報交換する事を禁止する。
- (20) ボールボーイについては、登録外選手のこともあり、内野のみ（2名）としユニフォームを着用する事。
- (21) グラウンド係りの割当は厳守するものとし、日本選手権大会派遣推薦等の評価の一部とする。

監督、指導者に対する注意事項

- (1) 監督・主将会議で、説明又は定められた事項は、チーム全員に徹底させる事。
- (2) 監督・コーチは出場選手に対し、中学生らしい態度で試合を行う様に指導する事は勿論、選手への体罰は厳禁とする。
- (3) 試合中選手・監督・コーチ・スコアラーは、特別の理由が無い限りみだりにベンチ、又はダッグアウトを離れない事。（試合中の喫煙は禁止）
- (4) 試合中及び練習中に、指導者が選手に対し、暴力等の行き過ぎた指導があれば、連盟より厳しい処置を科す場合がある。
- (5) 如何なる理由があっても、監督は判定を不服として試合中に選手をグラウンドよりベンチに引揚げさせてはならない。公認野球規則4.15を適用する場合もある。
- (6) 監督は、自チームの応援団の行為について責任を持つ事。
- (7) 応援団の用具はメガホンのみ認め、鐘、太鼓、笛やペットボトル等の鳴り物は禁止する。又、投手が投球動作を起こすと同時に、歓声を上げる事があるが、その度合いが過ぎると判断した時は、当該審判員又は大会役員が監督経由で注意を与える事がある。
- (8) 選手・監督・コーチ・スコアラーは、スタンドの応援団とみだりに私語を交わしてはならない。

選手に対する注意事項

- (1) 選手は、常にスポーツマンらしいきびきびとした動作でプレイをする事。
- (2) 試合開始及び終了時の挨拶に、両チーム選手間で奇声を発しない事。又、本部及び相手方ベンチ前に行って挨拶をしない事。
- (3) 3アウト後、試合球は、投手板付近に置く事。雨天時は、審判員に手渡す事。
- (4) 球審からボールを受け取る投手、予備ボールを手渡す選手、及びバッターボックスに入る打者は、その都度球審に礼をしなくても良い。
- (5) 試合開始時と終了時に両チームは、ホームプレートをはさんで整列し、審判員の指示で礼を交わす事。
- (6) リストバンド、リストガードの使用を禁止する。
- (7) マウスピースは、白色又は無色透明なものに限り着用を認める。
- (8) エルボーガードとレッグガードの使用は認める（色は、白、紺、黒）。
- (9) 手袋は次の条件を付して使用を認める。
 - ① 色は白、黒とする。
 - ② スプレーの使用は、打者が優位になる事もあるので禁止する。
 - ③ 出塁時に一回り大きいサイズの走塁用手袋の使用は禁止する。

宿舎での注意事項

《一般事項》

- (1) 大会期間中各チームは、引率責任者及び伝達事項を受ける責任者を定め、大会期間中の連絡、場所等（宿舎、電話番号、部屋番号、その他必要事項）を記載し、大会本部へ届け出る事。
- (2) 宿舎での貴重品等の管理は、各チームで責任を持って行う事。フロントに預けない物については、全てチーム又は本人の責任とし、大会本部及び宿舎は責任を負わない。

《選手への注意》

- (1) 試合中は勿論、宿舎内においても各連盟の代表チームである事、リトルシニアの選手であると同時に、中学生である事を十分に自覚し、他の範となる良識ある行動をとる事。
- (2) 宿舎は一般の宿泊者も同宿しており、宿舎内においては他の迷惑とならない様、特に次の事に留意する。
 - ア. 廊下では、駆けたり大声を発しない。
 - イ. エレベーターの利用については、割り込みをせず、他に先を譲るゆとりを持ち、出来る限り階段を利用する。
 - ウ. 入浴にあたっては、悪ふざけをしないで浴槽及び脱衣所を清潔にする事を心懸け、濡れたまま上がらない。
 - エ. 食堂へは、清潔な服装で入場し、余分な物を持ち込まない。
 - オ. 室内は、常に整理、整頓、清掃を心懸ける。